

**特別企画 : 新型コロナウイルス感染症に対する  
大分県企業の意識調査 (2020年7月)**

## 大分県企業の 83.8%で「業績にマイナス」 ～ 7月の売り上げ、3社に2社は前年同月比減少を見込む ～

### はじめに

2020年5月25日に緊急事態宣言、6月19日には県境を跨ぐ移動制限が解除され、日本の社会・経済は段階的に動き始めた。しかし、新規感染者数の最多更新など新型コロナウイルスの感染再拡大による経済活動の停滞が懸念されている。また、政府は、雇用の維持や事業継続、地域の活性化に資する需要喚起策など緊急経済対策を進めている。

そこで、帝国データバンクは、新型コロナウイルス感染症に対する企業の見解について調査を実施した。本調査は、TDB景気動向調査2020年7月調査とともに行った。

※調査期間は2020年7月16日～31日、調査対象は大分県内170社で、有効回答企業数は74社（回答率43.5%）。なお、新型コロナウイルス感染症に関する調査は、2020年2月から毎月実施し、今回で6回目

### 調査結果（要旨）

1. 新型コロナウイルス感染症による自社の業績への影響、『マイナスの影響がある』と見込む企業は83.3%。内訳をみると、「既にマイナスの影響がある」が64.9%、「今後マイナスの影響がある」が18.9%となった。一方、「影響はない」とする企業は9.5%、『プラスの影響がある』（「既にプラスの影響がある」と「今後プラスの影響がある」の合計）と見込む企業は1.4%
2. 2020年7月の売り上げ見込み、前年同月比で平均86.1%となった。減少を見込む企業は約3社に2社となり、特に前年同月比で1～20%の減少とみる企業が3割超で集中した。他方、増加を見込む企業は1割程度となり、横ばいは20.3%であった

## 1. マイナスの影響を見込む企業は、前回調査より0.7ポイント増加

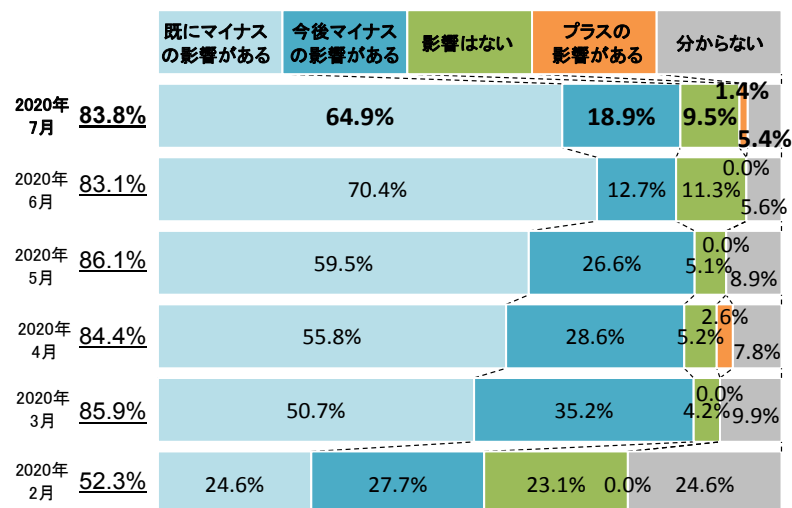
新型コロナウイルス感染症により自社の業績にどのような影響があるか尋ねたところ、『マイナスの影響がある』（「既にマイナスの影響がある」と「今後マイナスの影響がある」の合計）と見込む企業は83.8%となった。前回調査（2020年6月、83.1%）と比較すると0.7ポイント増加した。

内訳をみると、「既にマイナスの影響がある」が64.9%（2020年6月、70.4%）となり、前回より減少した。また、「今後マイナスの影響がある」が18.9%（同12.7%）で前回より6.2ポイントの増加がみられ、先行きに対する不透明感がやや増した様子がうかがえた。

他方、「影響はない」とする企業は9.5%（同11.3%）だったほか、『プラスの影響がある』（「既にプラスの影響がある」と「今後プラスの影響がある」の合計）と見込む企業は1.4%（同0.0%）となった。

『マイナスの影響がある』と見込む企業を業界別にみると、『不動産』『運輸・倉庫』『サービス』は100.0%。以下、『卸売』（87.5%）、『建設』（78.3%）、『製造』（71.4%）、『小売』（66.7%）と続いた。7業界のうち4業界では、既に7割超の企業がマイナスの影響を受けている。『建設』においては、既にマイナスの影響を受けている企業が4割を下回ったものの、今後マイナスの影響を見込む企業は39.1%となり、先行きに対して厳しい見方をしている。

### 新型コロナウイルス感染症による業績への影響



注1：母数は、有効回答企業74社。2020年6月調査は71社、同年5月調査は79社、同年4月調査は77社、同年3月調査は71社、同年2月調査は65社

注2：下線の値は『マイナスの影響がある』（「既にマイナスの影響がある」と「今後マイナスの影響がある」の合計）の割合

注3：『プラスの影響がある』は、「既にプラスの影響がある」と「今後プラスの影響がある」の合計

注4：小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない

### 業績に『マイナスの影響がある』割合 ～ 業界別 ～

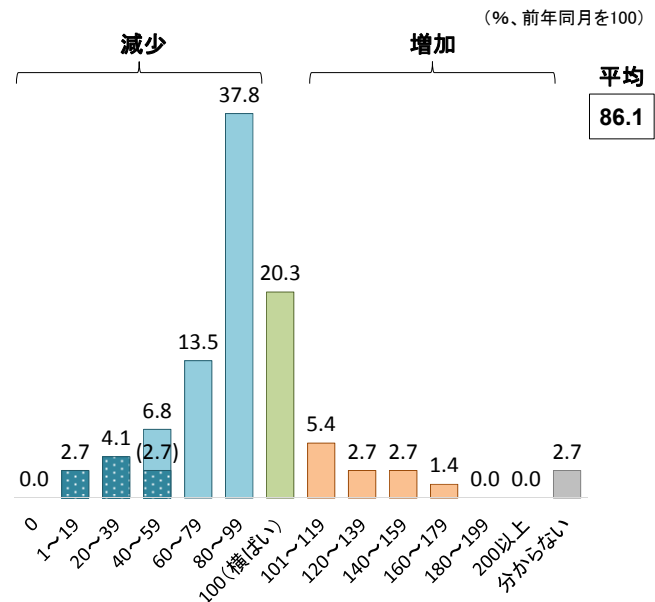
順位	業界	（%）		
		マイナスの影響がある	既にマイナス	今後マイナス
1	不動産	100.0	100.0	0.0
1	運輸・倉庫	100.0	100.0	0.0
1	サービス	100.0	88.9	11.1
4	卸売	87.5	62.5	25.0
5	建設	78.3	39.1	39.1
6	製造	71.4	71.4	0.0
7	小売	66.7	66.7	0.0

## 2. 7月の売り上げ、企業の3社に2社が前年同月比で減収を見込む

2020年7月の売り上げ見込みおよび同年4月～6月各月の売り上げについて前年同月を100として尋ねた<sup>1</sup>ところ、7月の売り上げ見込みは、前年同月比で平均<sup>2</sup>86.1%となった。減少を見込む企業は約3社に2社となり、特に前年同月比で80～99%（1～20%減）とみる企業が3割超で集中していた。

また、前年同月比で50%を下回ると見込む企業は9.5%となった。他方、増加を見込む企業は1割程度となり、横ばいは20.3%であった。

### 7月の売り上げ見込み ～前年同月比～



注1: 濃い青色の網掛けは、前年同月比で50を下回る割合  
注2: ( )の数値は「40～49」の割合を示す

業種別に前年同月比からの増減を平均してみると、「飲食料品・飼料製造」（106.5%）や「輸送用機械・器具製造」「各種商品小売」（各105.0%）は前年を上回る見込み、「繊維・繊維製品・服飾品製造」「建材・家具、窯業・土石製品製造」「機械製造」（各100%）は横ばい、「鉄鋼・非鉄・鋳業製品卸売」「専門商品小売」（各94.5%）を含む5業種で減少が1割未満となった。

他方、「不動産」では、前年同月比で平均31.2%となり、売り上げが半分以下に、「リース・賃貸」（59.5%）、「メンテナンス・警備・検査」（69.5%）は3割超落ち込むとみている。

### 7月の売り上げ見込み ～前年同月平均・上位下位各10業種～

(%、前年同月を100)

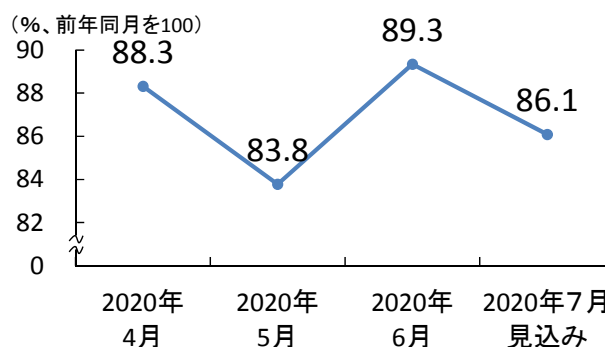
上位10業種	前年同月比平均	下位10業種	前年同月比平均
1 飲食料品・飼料製造	106.5	不動産	31.2
2 輸送用機械・器具製造	105.0	リース・賃貸	59.5
2 各種商品小売	105.0	メンテナンス・警備・検査	69.5
4 繊維・繊維製品・服飾品製造	100.0	情報サービス	74.5
4 建材・家具、窯業・土石製品製造	100.0	運輸・倉庫	74.5
4 機械製造	100.0	建材・家具、窯業・土石製品卸売	77.8
7 鉄鋼・非鉄・鋳業製品卸売	94.5	娯楽サービス	84.5
7 専門商品小売	94.5	自動車・同部品小売	84.5
9 建設	93.6	化学品製造	84.5
10 化学品卸売	93.0	電気機械製造	87.3

<sup>1</sup> 各月前年同月比を100として、「200以上」「190～199」「180～189」「170～179」「160～169」「150～159」「140～149」「130～139」「120～129」「110～119」「101～109」「100（横ばい）」「90～99」「80～89」「70～79」「60～69」「50～59」「40～49」「30～39」「20～29」「10～19」「1～9」「0」と「分からない」の24選択肢で調査

<sup>2</sup> 平均は、各選択肢の中央値に選択肢の回答社数を乗じて、加算したものを全回答社数で除したもの（ただし、「分からない」は除く）で算出

また、4月から6月における前年同月比の平均をみると、4月は88.3%、5月は83.8%、6月は89.3%となった。7月の見込みを含め直近4カ月間では緊急事態宣言下の5月が最も減収となった。6月で若干持ち直しがみられたものの、7月は再度減少に転じた。

4～7月の売り上げ ～前年同月平均～



## まとめ

本調査の結果、企業の8割超で新型コロナウイルス感染症により業績にマイナスの影響があると見込んでいる。8割を超えるのは5カ月連続となり、5月調査をピークにその後は減少したものの、今回は0.7ポイント増加した。

一方で、プラスの影響を見込む企業は僅かであるが増加しており、「海外に工場を持つ客先が、サプライチェーン維持のため国内生産に切り替えており、その恩恵がある」（製造）と聞かれ、在宅時間の増加にともなう需要の拡大以外にも、生産の国内回帰による需要増加や業務内容の改善による好影響がもたらされていた。

また、7月の売り上げでは、前年同月比で平均86.1%となり、緊急事態宣言下の5月と比べれば減収幅は縮小しているものの、約3社に1社が前年同月比で1～20%の減少を見込んでいる。

2020年5月25日に緊急事態宣言が解除された以降、移動やイベント開催に関する規制などが徐々に緩和され、日本の社会・経済は再び動き出した。しかしながら、国内の新規感染者数が最多を更新したほか、一部の都道府県で再び外出自粛要請を行うなど不安や混乱が広がっている。

政府や自治体は、経済再生と感染拡大防止の両立について、丁寧かつ具体的な説明とともに、速やかに施策を実行することが重要となる。

### 【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 大分支店 宮崎 喜幸  
TEL : 097-536-6363 FAX : 097-536-1213

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。